

【基礎分野】

科目名		担当者	実務経験
情報科学		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・前期	30時間/1単位/ 15回	講義・演習	
【概要】 高等学校までの学習を礎として、実験や観察などで得られたデータを統計学的に処理したり、解析したりするために必要な基礎的概念や考え方について平易に解説を行う。理論的な考察には深入りせず、易しい例題などで計算技術を向上させるとともに、パソコンを用いた統計処理演習も行って習熟度を深める。			
【目標】 目的に応じて収集したデータを、表やグラフなどを用いて整理できるとともに、データの傾向を、代表値などを用いてとらえるなど統計的な見方や考え方を理解し、それらの計算を統計的な推測などに活用できるようになる。			
【授業内容】 ・度数分布表、ヒストグラムなど ・代表値(相加平均など) ・散布度(分散、標準偏差) ・相関関係、パソコン演習 ・確率変数と確立分散、二項分布、正規分布など ・母集団と標本分布 ・推定・検定(母平均、等平均など)、パソコン演習			
【教授方法】 一斉講義 演習			
【使用テキストと参考文献】 新版 確率統計 実教出版			
【評価方法】 定期試験(約 70%) 小テスト(約 20%) パソコン演習(約 10%)により総合評価			
【備考】 ・規定どおりの出席を定期試験受験の条件とする。 ・電卓を使用する。			

科目名		担当者	実務経験
文章表現		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・前期	15時間/1単位/ 7回	講義・演習	
【概要】 自分の考えや気持ちを相手に適確に伝えるための表現法を学ぶ。			
【目標】 ・さまざまな文章を読むことにより、豊かな表現力を養う。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くための知識と技術を身につける。 ・表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につける。			
【授業内容】 ・さまざまなジャンルの文章を読む ・文章の書き方 ・表現の基本(表記・語句・漢字等) ・表現の工夫 ・聞き書き(インタビュー) ・レポートの作成法 ・意見文作成の手順 ・意見文の作成			
【教授方法】 一斉講義 演習			
【使用テキストと参考文献】 随時資料がある			
【評価方法】 授業内容確認小テスト レポート等			
【備考】 講義内容の詳細については初回講義時に提示します。			

科目名		担当者	実務経験
哲学		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・ 後期	30時間/1単位/ 15回	講義・演習	
【概要】			
テーマ:「哲学ってどんなこと？」			
哲学者の名前やその言葉、専門用語を暗記することが哲学なのではありません。			
哲学という学問が、どんなことを問題にして、どんな風に考えてきたのか、感じとってもらいたいと思います。			
【目標】			
様々な問題について、実際に受講者にグループで考えてもらうことによって、哲学的な思考を体験することを目指します。			
その体験と、大まかな哲学史の講義を通して、「哲学」とはどのようなものであるのか、大まかなイメージを受講者が持つことを目指します。			
【授業内容】			
1. 哲学のイメージ			
「哲学」は世間的にどんなイメージを持たれているのか？			
2. 哲学の始まり			
哲学はどんなものとして始まったのか？			
3. 哲学とキリスト教			
キリスト教と哲学の出会い			
4. 哲学の転換点①とその展開			
近代の哲学の転回と展開			
5. 哲学の転換点②その後			
現代の哲学の転回と展開			
6. 哲学とは何か？			
※随時、テーマを与えて、グループで考えてもらいます。簡単な発表あり。			
【教授方法】			
一斉講義 グループワーク			
【使用テキストと参考文献】			
使用する予定はありませんが、必要があれば、授業中に指示します。			
【評価方法】			
テストまたはレポート、および平常点(授業態度を重視)。			
60 点以上を以って単位認定とする。			
【備考】			
特になし			

科目名		担当者	実務経験
社会学		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・後期	30 時間/1 単位/ 15 回	講義・演習	
【概要】 社会のなかでの家族の機能・役割について学ぶ。			
【目標】 1. 家族・家庭生活の役割、機能を理解する。 2. 家族の形態、役割の変貌を理解する。 3. 結婚、夫婦の役割分担の意識変化を理解する。 4. 現代家族の諸問題を理解する。			
【授業内容】 1. 家族とは 2. 家族の変貌 「いえ」制度 3. 夫婦 夫と妻パートナーシップ 結婚と離婚 DV 4. 親子 ペアレンティング 母性論 5. 祖父母の役割 6. 家族の機能とその外部化 地域と家族 職場と家族 7. 近代家族の特質 8. 高齢化社会と少子化			
【教授方法】 一斉講義			
【使用テキストと参考文献】 随時資料がある			
【評価方法】 客観テスト			
【備考】			

科目名		担当者	実務経験
教育学		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・後期	30 時間/1 単位/ 15回	講義・演習	
【概要】 教育の理論と方法を学ぶことにより、自己の成長を図り看護に適応する能力を養う。			
【目標】 1. 人間と教育の関係を理解する。 2. 「考える」「学ぶ」ということがわかる。 3. 「教える」「育てる」ということを理解し、看護実践への応用がわかる。			
【授業内容】 1. 教育学を学ぶということ。看護との関連 2. 人間と教育 デューイとカントの説 3. 子どもと教育 教育的関心 4. ポルトマン 生理的早産について 5. 子どもの教育について 6. 学校を考える 7. 今日における学校の課題 8. 管理教育について 9. 学校教育といじめ問題 10. 教科書を考える 11. 異文化教育について			
【教授方法】 一斉講義			
【使用テキストと参考文献】 系統看護学講座 基礎 教育学 医学書院			
【評価方法】 客観テスト			
【備考】			

科目名		担当者	実務経験
生物学		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・前期	30時間/1単位/ 15回	講義・演習	
【概要】 解剖生理学や生化学への橋渡しとして、生命の基本現象や法則性を中心に学び、生物学の基礎的な知識の習得を目指す。また、生命科学・生命倫理について考える機会とする。			
【目標】 1. 細胞の構造、核酸、酵素、代謝、ホルモン、神経系、免疫などの生物学の基本的な知識を理解する。 2. 理解した知識について説明できるようになる。 3. 生命科学、生命倫理について考える。			
【授業内容】 1. 生物学の基礎 2. 細胞と生物を構成する物質 3. 栄養と代謝 4. DNA と遺伝情報の発現 5. 細胞の増殖と生殖、発生、分化 6. 動物の組織と器官 7. ホルモンと生体調節、神経系 8. 免疫と感染症 9. 生命システムの破綻 10. バイオテクノロジーと医療			
【教授方法】 教科書と配布資料、スライドによる説明を用いた対面講義を行う。			
【使用テキストと参考文献】 医療・看護系のための生物学 改訂版 裳華房			
【評価方法】 授業態度 10％(出席状況、授業中の発言、態度等をもとに評価する) 筆記試験 90％			
【備考】			

科目名		担当者	実務経験
人間関係論		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・後期	15時間/1単位/7回	講義・演習	
【概要】 コミュニケーションおよび集団力動に関する基礎知識を学ぶとともに、対人援助職に求められる良好な人間関係の築き方について、体験学習を取り入れながら理解する。			
【目標】 1. コミュニケーション理論、および、集団力動理論について学ぶ。 2. 人間関係向上に向けた基本的知識と姿勢を習得する。 3. 自己理解、他者理解の重要性を理解する。			
【授業内容】 1. コミュニケーションの基礎理論 2. 社会的役割と人間関係 3. 集団力動論 4. 援助的コミュニケーションの基本姿勢 5. 援助的コミュニケーションの実際 6. 集団におけるコミュニケーション 7. コミュニケーションと間主観性			
【教授方法】 一斉講義 グループワーク			
【使用テキストと参考文献】 人間関係論 医学書院			
【評価方法】 レポート 講義 ・ グループワークでの発言及び積極的なコミットメント			
【備考】			

科目名 保健体育		担当者	実務経験
		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・前期	15時間/1単位/ 7回	講義・演習	
【概要】 各種の運動を通して公正・協力・責任などの態度を身につけ、健康な体力づくりをする。 また、自発的に運動を継続するきっかけとする。			
【目標】 1. 集団行動・機敏な行動を身につける。 2. 体力づくりに努める。			
【授業内容】 ・集団行動 ・ストレッチ ・卓球 ・マット運動 ・バドミントン など			
【教授方法】 実技			
【使用テキストと参考文献】			
【評価方法】 実技テスト 参加度			
【備考】			

科目名		担当者	実務経験
英語		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・前・後期	60 時間/2単位/ 30 回	講義・演習	
【概要】 高校までの英語の知識を再構成し英語の読解力を養うための訓練を、リーディング教材を使用して行う。			
【目標】 1. 平明な英語で書かれた文章を正確に読むことができる			
【授業内容】 テキスト内容に沿って実施			
【教授方法】 一斉講義			
【使用テキストと参考文献】 Medical English Clinic センゲージラーニング(株)			
【評価方法】 定期テスト(前期末、後期末試験)			
【備考】			

科目名 英会話		担当者	実務経験
		非常勤講師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
2年次・ 前・ 後期	60 時間/2単位/ 30回	講義・演習	
【概要】 外国人講師とのグループレッスンにより日常会話を楽しく学ぶ。			
【目標】 1. 英語による聞き取り、対話を通して役に立つ実用的な英語力を身につける。 2. 外国人講師と触れ合い、異文化に関心をもつ。			
【授業内容】 1 GREETINGS 2 GROUP WORK 3 LIKES, DISLIKES 4 HOW DO YOU SPELL YOUR LAST NAME? 5 SHOPPING GAMES 6 NATURAL CONVESATION 7 FAMILY 8 MY VACATION 9 SPEECH WRITING WHY DO YOU WANT TO BE A NURSE 10 HEALTH AND BODY 11 VACATION PLANS 12 COLORS CLOTHES 13 EVERY DO YOU..... 14 NURSE PATIENT ROLE PLAY 15 CHRISTAMAS			
【教授方法】 2 グループに分かれてグループレッスン 50 分ずつ 2 回グループレッスンを行う			
【使用テキストと参考文献】 なし			
【評価方法】 授業への参加度			
【備考】			

科目名		担当者	実務経験
人権と赤十字		専任教師	○
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1 年次・前期	30 時間/1 単位/15 回	講義・演習	
【概要】 あらゆる状況下において、人間の尊厳と権利を尊重し、苦痛を軽減することが赤十字の使命である。講義では、国連憲章と世界人権宣言に触れ、国際人権保障の基本概念について学び、そこから発展した国際人権規約、難民条約、女子差別撤廃条約、児童の権利条約、人種差別撤廃条約など国際人権条約について学び、かつ身近な人権問題について考えることで、人権について理解を深める。さらに、戦時・紛争時に適用されるジュネーブ条約を含む国際人道法について学び、人々の尊厳を守るための法的基盤と様々な課題について理解を深める。また、赤十字発祥の歴史とともに赤十字の行動指針である赤十字の基本原則についてとともに、赤十字の基本原則、特に人道、公平、中立を国内外の救援活動、日々の看護実践に生かす方法について考える。			
【目標】 1. 国際人権保障の基本概念と国際人権条約および日本の対応について理解する。 2. 赤十字の歴史と赤十字の基本原則について理解する。 3. ジュネーブ条約を含む国際人道法について理解する。 4. 人道的援助における様々な課題について理解する。 5. 赤十字の基本原則の実践への適用について考える。			
【授業内容】 1. 国際人権法と日本の対応 1) 人権宣言の成立と展開 2) 国連憲章と世界人権宣言 3) 国際人権条約と日本の対応 国際人権規約・難民条約・女子差別撤廃条約・児童の権利条約・人種差別撤廃条約 2. 赤十字と国際人道法 1) 赤十字の誕生とジュネーブ条約 (1) 赤十字誕生と発展 (2) 赤十字国際委員会・国際赤十字赤新月社連盟・各国赤十字社 (3) 日本赤十字社の歴史と事業 2) 赤十字の諸原則 (1)赤十字の基本原則 (2)ピクテの赤十字の諸原則 3) 国際人道法 (1)国際人道法の概要 (2)国際人道法の普及と監視・処罰 4) 人道的救援活動の具体的事例と課題 5) 赤十字基本原則の国内外の救援活動および看護実践への適応			
【教授方法】 講義 ・ グループワーク			
【使用テキストと参考文献】 Pictet, Jean. 著:井上忠男訳:解説赤十字の基本原則,東信堂. 日本赤十字社:赤十字と国際人道法 日本赤十字社:赤十字のしくみと活動 赤十字看護研究会:新人看護師若菜と読む『赤十字の基本原則』 赤十字新聞、赤十字国際会議、その他の資料			
【評価方法】 授業参加態度 ・ 筆記試験			
【備考】			

科目名 赤十字活動論		担当者	実務経験
		専任教師	○
		日本赤十字社新潟県支部 職員	
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	授業の種類	
1年次・前期	15 時間/1単位/ 回	講義・演習	
【概要】 合宿訓練や施設見学を通して、赤十字精神・赤十字の活動に関心を持つ。また、人道に基づく赤十字精神を日常生活の中で具体的に実践することを考える機会とする。			
【目標】 1. 赤十字精神・赤十字活動について理解する。 2. 赤十字の一員としてボランティアサービスについて理解する。 3. 常に周囲に関心を持ち、想像力を働かせて自発的に行動する。			
【授業内容】 Ⅰ．赤十字トレーニングセンター 1. 赤十字の活動 2. 赤十字の一員として「気づき、考え、行動する」こと 3. 救急法の基礎 Ⅱ．日本赤十字社新潟県支部の活動の実際 1. 赤十字の活動の実際 2. 新潟県支部の事業内容			
【教授方法】 授業内容Ⅰ．赤十字トレーニングセンター 授業内容Ⅱ．日本赤十字社新潟県支部の活動の実際 講義・支部研修			
【使用テキストと参考文献】			
【評価方法】 参加度、研修後レポート			
【備考】			